

国語 - 15 (第4学年) 紹介したい本を取り上げて説明する事例

【学習活動の概要】

1 単元名 「読書新聞」でお気に入りの物語を説明しよう		
2 単元の目標 本の大好きなところを紹介するために、選んだ理由を明らかにしたり、印象的なところを見付けたり、目的に応じて引用したり要約したりして読むことができる。		
3 評価規準 【国語への関心・意欲・態度】 ・紹介したい本について説明するために、本を繰り返し読むなどして改めて味わったり、新たなおもしろさに気付いたりしながら読もうとしている。 【読む能力】 ・相手が知らない本や、自分が読んで紹介したいと思う本について、選んだ理由を明らかにしながら読んでいる。 ・自分が選んだ本や物語のおもしろさを説明するために、場面の移り変わりの印象的なところや主人公の性格や気持ちの変化、情景の美しさなどをとらえて読んでいる。 ・紹介する理由を説明するために、ふさわしいところを引用したり要約したりしている。 【言語についての知識・理解・技能】 ・指示語や接続語は、文相互の関係、段落相互の関係を端的に示す手掛かりになることを理解して、文章を読んでいる。		
4 教材 同じ年頃の主人公が登場する物語文教材		教材文と関連性のある物語
5 主な学習活動(単元の指導計画(全8時間))		
	学 習 活 動	言語活動に関する指導上の留意点
第一次	<p>学習の見通しをもつ。 教材文の作者が書いた物語の読み聞かせを聞き、印象に残ったところ、心がひかれる場面などについて紹介し合う。 教師自作の読書新聞のモデルの紹介を聞き、自分のお気に入りの物語を読書新聞で紹介しようというめあてをもつ。 自分の好きな本を集めて、並行読書していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自作の読書新聞のモデルを見て、どのように読書新聞を作っていくのかについて、見通しをもてるようにする。 ・教師自身の好きな物語を紹介することで、読書に向かう姿勢をつくる。
第二次	<p>教材文を読み、読書新聞を作る。 教材文を読み、気になったところ、好きなところを紹介し合う。 読書新聞で説明したいことを確かめながら繰り返し読んで記事を書く。 【読書新聞作りのための読みの視点】 ・あらすじ ・お気に入りの場面(場面が大きく変わる瞬間) ・主な登場人物の性格・気持ちの変化 ・美しい情景描写 ・自分のお薦めの叙述 記事を台紙に貼り付けて、教材文のおもしろさを説明する読書新聞を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな型となる読書新聞の割り付けを示し、それぞれの記事のモデルの内容を確かめる。 ・読書新聞全体を通して、その本のおもしろさを説明できるようにすることを確認する。 ・読書新聞の見出しや記事などが、それぞれ物語を読んでいくときの視点となることに気付かせる。 ・並行読書する際にも、どんな記事でどのように説明していくかを考えるようにする。 ・同じ物語を新聞にしても、紙面構成や記事の内容が異なるおもしろさに気付くよう促す。
第三次	<p>好きな本を説明する読書新聞を作る。 自分の好きな物語を選び、読書新聞の割り付けを考える。 物語を読み返しなが、読書新聞の記事を書く。 読書新聞を張り出し、読んで感想を述べ合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学んできた読書新聞作りの視点を生かして、好きな物語を説明する紹介記事を書けるようにする。

好きな本の並行読書(視点を意識して読む)



【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・国語の第3学年及び第4学年「C 読むこと」の指導事項「ウ 場面の移り変わりに注意しながら，登場人物の性格や気持ちの変化，情景などについて，叙述を基に想像して読むこと。」と指導事項「エ 目的や必要に応じて，文章の要点や細かい点に注意しながら読み，文章などを引用したり要約したりすること。」，指導事項「カ 目的に応じて，いろいろな本や文章を選んで読むこと。」を取り上げて指導するものである。

その際，「C 読むこと」の言語活動例「エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。」を具体化し，読書新聞を作ることを通して指導することにより，指導の効果を高めた事例である。

【言語活動の充実の工夫】

1 読書新聞で育成できる読む能力

本事例では，指導のねらいを実現するために，読んだ本のおもしろさを説明する読書新聞作りを，単元を貫く言語活動として位置付けている。

ここではあくまでも読む能力を育成するための活動として新聞作りを行うこととなる。

第3学年及び第4学年では，例えば次のような能力の育成が可能である。

出来事を報道する記事

物語のあらすじを説明する。

(指導事項ウ)

場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化，情景を押さえて記事に書く。

(指導事項ウ)

解説記事

紹介したい主人公の気持ちの変化などを，場面の移りわりと関わらせて解説する。

(指導事項ウ)

インタビュー記事

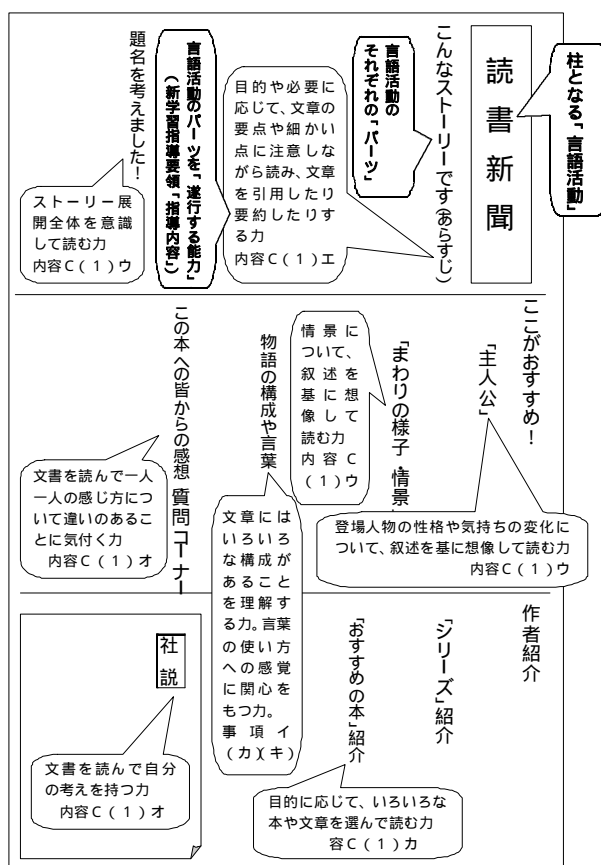
登場人物に架空のインタビューを行い，性格や気持ちの変化をとらえる。

(指導事項ウ)

紹介記事

作者や関連する他の本を紹介する。(指導事項カ)

【読書新聞の割り付け例】



2 新聞記事を書きながら繰り返し読む

単元の導入部や第二次の冒頭において，新聞記事のモデルを基に，どのような割り付けで，どのように書き進めればよいかを，児童がイメージできるようにしている。特に重要な点として，次の2点を押さえたい。

新聞の紙面を様々な種類の記事で構成し，全体として自分の紹介したい本のおもしろさを説明できるようにする。

記事には様々な種類があり，その記事の種類に応じて，説明する物語のおもしろさが伝わるように書く。そのためには，物語を何度も読み返すことが大切である。

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類：